

平成20年 1月

お客様各位

株式会社 陽進堂

使用上の注意事項改訂のお知らせ

広範囲経口抗菌剤
ベンジング錠200mg
(塩酸シプロフロキサシン錠)

今般、自主改訂により下記の通り使用上の注意事項を変更致しましたので、お知らせ申し上げます。(下線部分が変更箇所です。)

今後のご使用に関しましては、下記内容をご参照下さいますようお願い申し上げます。

記

改訂後			改訂前		
2. 相互作用 (2)併用注意(併用に注意すること)			2. 相互作用 (2)併用注意(併用に注意すること)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
変更なし			省略		
グリベンクラミド	グリベンクラミドの作用を増強し、低血糖があらわれることがある。	グリベンクラミドの肝での代謝を阻害するとの報告もあるが、発現機序の詳細は不明である。	グリベンクラミド	グリベンクラミドの作用を増強し、低血糖があらわれることがある。	グリベンクラミドの肝での代謝を阻害するとの報告もあるが、発現機序の詳細は不明である。
ロピニロール 塩酸塩	ロピニロールのC _{max} が60%、AUCが84%それぞれ上昇したとの報告がある。ロピニロールの投与中に本剤を投与開始又は投与中止する場合には、必要に応じてロピニロールの用量を調節する。	併用により、ロピニロールの肝での代謝が阻害されるためと考えられている。	メトトレキサート	メトトレキサートの血中濃度が上昇し、作用が増強されるおそれがある。併用する場合には患者の状態を十分に観察する。	発現機序の詳細は不明であるが、メトトレキサートの腎尿細管からの排泄が阻害されるためと考えられている。
メトトレキサート	メトトレキサートの血中濃度が上昇し、作用が増強されるおそれがある。併用する場合には患者の状態を十分に観察する。	発現機序の詳細は不明であるが、メトトレキサートの腎尿細管からの排泄が阻害されるためと考えられている。	省略		
変更なし					

〈改訂理由〉

ロピニロールとシプロフロキサシンとの併用により、ロピニロールのCmax、AUCがそれぞれ60%、84%上昇したとの報告があります。シプロフロキサシンとの併用によりロピニロールの作用が増強されるおそれがあることから、今回、「相互作用（併用注意）」の項にロピニロールとの相互作用を追加記載し、注意喚起を図ることにいたしました。

〈参考〉

Kaye, C.M. et al. : Clin. Pharmacokinet., 39(4): 243-254 (2000)

DSU No. 166 (2008年1月) 掲載予定

お問い合わせは、担当MR又は弊社営業本部までご連絡ください。
株陽進堂 営業本部 阿部
TEL 076-465-5192 FAX 076-466-3110

以 上